

HELLO!!!

明けまして おめでとうございます

外国語指導助手
メラニア・ジュスフ
Melania Jusuf



今年の新年のお祝いは初めてアメリカの友達や家族と離れて過ごしました。新年を異文化を通して体験できるなんて、めったにない機会です。日本では新年が家族にとって大切な一大行事だとは思っていませんでしたが、さまざまな儀式や縁起物などにとっても刺激を受けました。

年明けのお祝いは、文化によって異なります。アメリカで最も有名なのはニューヨークのタイムズ・スクエアで行われるカウントダウンイベントです。アメリカ（正確にはサンフランシスコ）では、新年は恋人とロマンチックな夕食を食べたり友達とパーティーをしたりして祝います。大晦日の外出は1年間で最もお金のかかる日のひとつです。レストランは値段が2倍にも3倍にもなり、ダンスクラブはチケットが高くなるにも関わらず、大晦日の数週間前には売り切れてしまいます。余分にお金を払わなければ、タクシーを呼び止めることもできません。

私の2011年の年明けは、サンフランシスコ流に行いました。しかも、ただパーティーに行くというようなものではなく、何か意味のあるものにしたかったです。素晴らしい一年になることを期待して、2011年を良い年明けにしようと考えました。そこで、感謝の気持ちを表すために料理をみんなで共有す

るといふインドネシアの伝統に従い、世界中の縁起の良いとされる食べ物を用意して、アパートに友達を招待し一緒に楽しみました。伝統的な調理方法ではありませんでしたが、できるだけ多文化の食材を使用しました。アメリカ（南部料理）、インドネシア、日本、中国、デンマーク、ドイツそしてスペイン。その料理のリストがこちらです。

平豆（硬貨を象徴）・黒目豆（幸運を象徴）、*コラードの若葉（お金を象徴）・ポークソーセージ（豚は発達を象徴）入りのスープ、黄色のご飯の山（インドネシアの祝いの食事）、そば（長寿を象徴）、もち、味噌で味付けしたタラ、豚ひき肉入りロールキャベツ（キャベツはお金を象徴）、ぶどう入りシャンパンゼリー（深夜12時に12粒のぶどうを食べるといふスペインの伝統）、そしてもちろんシャンパンも！

夕食後はダンスクラブに行き、とても楽しいひとときを過ごしました。帰りは満員でバスに乗ることができず、タクシーもなかなかつかまらなくて素晴らしい年明けとはいえませんでした。それでも縁起の良い食べ物は2011年を良い年にしてくれたと思います。この一年間で得たもの、体験したこと、全てに感謝の気持ちでいっぱいです。

2012年も、さらに実り多き一年となりますように。



1_平豆のスープ 2_黄色のご飯 3_いろいろな料理を盛り合わせて。手前左はロールキャベツ、右奥はタラの味噌焼き 4_ダンスクラブでにぎやかに年越し

*コラード…ケール、ちりめんキャベツ